



オスプレイからの飲料水ボトル落下事故に対し、オスプレイの即時撤去及び追加の配備計画の撤回を要請!!

2月5日に発生したMV-22オスプレイからの飲料水ボトル落下事故、2月18日に発生した米海兵隊員の住居侵入事件に対して、2月27日に議長を初めとする基地関係特別委員会による抗議要請が県内関係機関に対して行われた。

ぎのわん 第86号

市議会だより

宜野湾市議会

宜野湾市野嵩一丁目1番1号
電話 (098) 893-4411(内337)
印刷 株式会社東洋企画印刷



飲料水ボトル落下事故及び海兵隊員による住居侵入事件に対し、武田防衛局長へ要請する宜野湾市議団（平成25年2月27日）

定例会の経過

12月	3日	議会運営委員会
	5日	会期の決定、案件上程、説明
	7日	上程案件に対する質疑、委員会付託、議会運営委員会
	10～12日	常任委員会議案審査
	14、17～19日	一般質問（質問者16名）
	12、17、18日	議会運営委員会
	20日	各常任委員会の審査報告及び表決 議会運営委員会

市長の減給条例案を可決!! 月額15%の2ヵ月間減額

12月 定例会 会期 12月5日～12月20日

第373回宜野湾市議会定例会は、12月5日から12月20日までの16日間の会期で開かれました。

今定例会は、特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例や海浜公園等の指定管理者の指定についてのほか、部設置条例の一部を改正する条例についてなど39件の議案等が審議され、16名の議員による一般質問も行われました。

12月定例会 主な議案の 審議経過

平成二十三年度一般会計 歳入歳出決算の認定

決算の内容は、歳入総額三百三十二億五千二百五十四万五千九百六十九円、歳出総額三百二十一億三千八百七十八万三千四百九十九円である。

委員会審査では、経常収支比率が平成二十一年度より毎年改善している要因について質疑がなされ、税収の伸びや人件費の縮減が主な要因であるが、今後は行政診断等の結果も踏まえて、さらなる行政改革の推進を図っていききたいとの答弁がなされた。また、補助金については、見直し指針及び審査基準に基づいて、方向性は出しており、新年度予算へ反映できないか検討中であるとの説明がなされた。委員からは、これからの行政には「運営」ではなく「経営」という感覚が求められており、主体的なまちづくりに取り組みんでもらいたいとの提言がな

一般会計補正予算 (第四号)

予算の内容は、三億九百七十五万六千円を追加補正するものである。

可決

委員会審査では、認可保育園施設整備事業に関し、施設整備による待機児童解消への効果と今後の取り組みについて質疑がなされ、平成二十年からのこれまでに四百五十人余りの定員増を図ってきたが、待機児童数は横ばいであり、今後は施設整備を初め、認可外保育園の認可化や保育ママ制度実施の検討など取り組みたいとの答弁がなされた。また、台風十七号の被害については、学校施設を初め、多くの公共施設で被害があり、予備費から多額の支出を余儀なくされた。今回の被害状況の検証等も踏まえ、今後の施設整備に生かしていきたいとの説明がなされた。

そのほか個人市民税の減収理由や収納率向上に向けた取り組み状況、台風被害への補償制度の創設など、多くの質疑、提言等がなされ、全会一致で認定された。

部設置条例の一部改正

可決

議案内容は、平成二十五年組織見直しに当たり、現行の福祉保健部を福祉と保健の分野に分割し、さらなる福祉保健サービスの向上を図るため、条例を改正したいとの内容である。

特別職の給与条例の一部改正

可決

委員会審査では、二部制になることによる職員体制や予算編成について質疑がなされ、「福祉推進部」に九十名、「健康推進部」に八十名の配置で現行より五名の職員増を予定しており、部長職の増員に伴い人件費は増額となるが、さらなる市民サービス向上を図るための組織づくりに取り組みたいとの答弁がなされ、全会一致をもって可決された。

み金額の確認は二重に行っていたが、その後の事務作業の間に不正防止策が講じられておらず、今回の不正が起こってしまったため、今後は、振り込み金額の確認後に不正な入力ができないよう、システムに制限をかけるなどの対策を講じてまいりたいとの答弁がなされた。

真志喜中学校屋内運動場・武道場増設建築請負契約

同意

委員会審査では、九月議会上程された学校関係建設の工事請負契約における入札と異なる点について質疑がなされ、今回の入札は、設計金額と予定価格が同額でないため、予定価格から最低制限価格を算出できない点と各業者が設計金額等を積算した結果、入札額が異なっているとの説明がなされ、全会一致をもって同意された。

議案内容は、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律(第一次一括法)」の公布により、介護保険法の一部が改正されたことに伴い、指定地域密着型サービスに関する条例を三件制定する内容である。

海浜公園等の指定管理者の指定

同意

議案内容は、平成十八年四月から開始されたトリピカルビーチの三期目の指定管理期間が平成二十五年三月末をもって終了することに伴い、指定管理範囲を市立総合運動

場及び海浜公園内施設まで広げることで利用者の利便性を高め、西海岸地区のリゾート性を増大すること、また、市内都市公園施設等の維持管理の質を向上させることを目的に新たな指定管理者として、はごろもパークマネジメントを指定するため、議会の議決を求めるものである。

委員会審査では、委託料の削減額について質疑がなされ、今回、市立運動場を含む十六施設に範囲を拡大して管理することにより、五年間で一億二千九十七万円の削減効果を見込んでいるとの説明がなされた。そのほか指定管理者の選定方法や選定委員会の評価結果についても多くの質疑、提言等がなされ、全会一致をもって同意された。

今定例会における指定管理案件一覧

施設名	指定管理者となる団体	指定期間
宜野湾マリン支援センター	株式会社 マレア・クリエイト	平成25年4月1日～ 平成30年3月31日
宜野湾ベイサイド情報センター	琉球インタラクティブ株式会社	平成25年4月1日～ 平成30年3月31日
宜野湾海浜公園等	はごろもパークマネジメント	平成25年4月1日～ 平成30年3月31日

市議会の活動状況(平成24年分)

1. 定例会・臨時会の開催等について

区分	会期日数	本会議日数	一般質問日数	質問者数	傍聴人数	
定例会	3月定例会	28日間	13日間	4日間	18人	86人
	6月定例会	17日間	9日間	6日間	23人	55人
	9月定例会	21日間	9日間	6日間	22人	50人
	12月定例会	16日間	7日間	4日間	16人	23人
小計	4回	82日間	38日間	20日間	79人	214人
臨時会	3回	3日間	3日間			1人
年間合計	7回	85日間	41日間	20日間	79人	215人

2. 各委員会の会議日数等について

委員会名	内訳 委員数	委員会開催日数		
		会期中	閉会中	合計
総務常任委員会	9人	11日間	5日間	16日間
経済建設常任委員会	8人	11日間	2日間	13日間
福祉教育常任委員会	9人	14日間	4日間	18日間
議会運営委員会	10人	16日間	7日間	23日間
基地関係特別委員会	10人	0日間	6日間	6日間
全員協議会	27人	1日間	0日間	1日間
合計		53日間	24日間	77日間



我謝修氏

教育委員の選任
高江洲善勝氏の任期満了(平成二十四年十二月二十一日)に伴い、我謝修氏を、その後任とする人事案件が定例会最終日に提案され、一名退場のもと、全会一致で選任同意されました。

特別委員会の設置
十二月定例会において、全会一致により特別委員会が新たに設置されました。

▼設置目的及び付託事項
議会機能の強化を図るとともに、市民へ開かれた議会を目指すこと等を目的として、議会基本条例の策定及び議会改革に必要な事項を調査、検討する。
▼委員定数十名

特別委員会の設置



一 般 質 問

今定例会は、16名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。紙面の都合上簡潔に掲載いたします。詳しい内容は、市議会会議録を自治会事務所や議会事務局に保管しています。さらに、市のホームページにも掲載いたしますので御利用ください。

答弁者

- 市長 佐喜眞 淳
- 副市長 松川 正則
- 教育長 宮城 茂雄
- 水道事業管理者 外間 伸儀
- 総務部長 宮城 聡
- 企画部長 和田 敬悟
- 基地政策部長 比嘉 秀夫
- 福祉保健部長 玉那覇 豊子
- 市民経済部長 宮城 豊信
- 建設部長 石原 昌次
- 教育部長 宮里 幸子
- 指導部長 古堅 宗篤
- 消防長 大嶺 清光
- 会計管理者 國吉 秀子

市立幼稚園の預かり保育事業について



伊波一男議員

◎議員 市立幼稚園の預かり保育事業における現在の預かり状況についてお聞きしたい。
◎指導部長 定員が二十名と定められており、普天間幼稚園が十五名、普天間第二幼稚園が二十名、大山幼稚園が二十名、大謝名幼稚園が二十名、志真志嘉数幼稚園が二十名、志真志幼稚園が二十名及び宜野湾幼稚園が十九名となっている。
◎議員 預かり保育利用者の昼食の形態について、本市及び他市の状況をお聞きしたい。
◎指導部長 本市において、昼食は弁当持参であり、那覇市、浦添市及び八重瀬町においては、ケータリングを行っている。
◎議員 弁当持参は、保護者の負担が大きいため、ケータリング等の導入が重要だと考えるが、本市においてもモデルケースとしてスタートできないのか伺いたい。
◎指導部長 それぞれメリット、デメリットがあるため、現時点での導入は困難だが、今後も調査、研究をしたい。

市内地区第二土地区画整理地区の交通渋滞緩和について



濱元朝晴議員

◎議員 市道宇地泊三三号及び県道三四号線から国道五八号への右折信号がないため、現在交通渋滞が発生しているが、当初から右折信号機の設置は検討されないうまま市道宇地泊三三号交差点部分の供用開始を行ったのかお聞きしたい。
◎市民経済部長 設計当初の段階において、右折信号機の設置は検討されていたが、現在、設置がなされていないため、相当の混雑が起きている。平成二十四年八月には宜野湾警察署から公安委員会へ上申を行い、現在に至っているが、再度確認したところ、現地の交通量調査を行った上で、今年度中に設置を行うとの回答を得ている。
◎議員 市民も喜んで歓迎すると思われる。本来であれば、信号機設置の段階で右折矢印があれば、交通渋滞もなかったと思う。当該地域は、さらなる発展が期待される地域であるため、早期の右折信号機の設置をお願いしたい。



右折信号機が設置された大謝名交差点(宇地泊32号側)

住宅用太陽光発電システムの設置に対する補助について



岸本一徳議員

◎議員 那覇市を初め、多くの市町村において補助が行われているが、本市においても検討がなされているのか、導入する予定はあるのか伺いたい。

◎市民経済部長 住宅用太陽光発電システムの設置補助の導入については、平成二十五年の実施に向け、要綱等の整備及び予算要求を行っており、現在作業を進めている状況である。

一括交付金の活用について



宮城 司議員

◎議員 一括交付金は、沖縄振興に資する事業を市が主体的な選択に基づいて実施できる交付金として今年度創設されたが、今までの交付金との相違点等、具体的にお聞きしたい。

◎企画部長 同交付金は、沖縄県及び県内市町村が独自の施策を効果的に展開するため、使途の自由度が高く、必要総額が確保された交付金である。

◎議員 補助金額等の基準に関しては、検討を行っているのか。具体的な金額が決定しているのであれば、お聞きしたい。

◎市民経済部長 一キロワット当たり二万円、上限を十二万円として積算をしている。補助戸数は、五十二戸を見込んでおり、六百二十四万円の予算要求を行っている。

◎議員 市長公約において、「日本エコのまちづくり」と掲げていることから、早期の実現を期待しているため、予算の獲得をお願いしたい。

あり、本市は、総額十五億九千万円の配分を受けている。

◎議員 一括交付金要綱に基づいた事業計画の策定はなされているのか。

◎企画部長 一括交付金対象事業として、沖縄の振興に資する事業及び特殊性に起因する事業と定められており、本市においては、普天間飛行場から発生する問題を特殊要因として、はごろも小学校関連事業、市民会館施設整備事業等がある。

◎議員 自立型経済の構築に向け、費用対効果の高い事業の採択を要望したい。

宜野湾市民栄誉賞の創設について



森田 進議員

◎議員 市制五〇周年を迎え、市民の日には多くの市政功労者が表彰されてきたが、市政功労とは違う市民栄誉賞の創設について、これまで検討したことがあるのか伺いたい。

◎企画部長 市政に功労があった方については、昭和五十九年から市政功労者として表彰してきたが、市民栄誉賞については、これまで余り議論されてきておりません。

◎議員 ことしの県民体育大会において、本市女子バスケットボールチームが十連覇を果たしており、この功績は初の市民栄誉賞としてその栄誉をたたえるべきだと思いが、いかがお考えか。

◎企画部長 十連覇というのは、非常に偉業だと思っております。市民栄誉賞や他市の市民栄誉賞の状況、市政功労表彰との整合性も考慮しながら、今後の規則改正も踏まえて検討していきたい。

◎議員 市民に夢と希望を与えるためにも、ぜひとも早急に整備してもらいたい。



市民栄誉賞第1号として表彰された女子バスケットボールチーム

オスプレイ配備撤回に向けての取り組みについて



我如古盛英議員

◎議員 配備撤回に向けては粘り強い取り組みが必要と考えるが、今後どのように取り組んでいくのか。

◎基地政策部長 問題解決に向けては、県民一丸となった行動が大事と考えており、県民大会の実行委員会と連携して取り組んでまいりたい。

◎議員 オスプレイが強行配備されて、普天間飛行場の固定化の兆しがある。県との連携に加え、市独自の新たな取り組みも必要と考えるが、市長の意気込みと、新たな政権に対してどのように働きかけていくのか伺いたい。

障がい児に対する支援のあり方について



宮城 克議員

◎議員 前回、支援のあり方について要望したが、その後の取り組みについて伺いたい。

◎福祉保健部長 五力所の事業所と意見交換を行ったが、重症心身障害児の受け入れについては、指導訓練室の設置や看護師、機能訓練担当職員の配置及び嘱託医の確保等が必要であり、今現在、市にそれだけのニーズがあるかどうか、調査もすべきではないか。

◎議員 一日も早い実現に向けて取り組んでいただきたい。

携に加え、市独自の新たな取り組みも必要と考えるが、市長の意気込みと、新たな政権に対してどのように働きかけていくのか伺いたい。

◎市長 さまざまな調査を行い、市民に不利益が及ばないように、夜間飛行の停止等に取り組んでまいりたい。また、新たな政権に対しても、いろいろな角度から情報交換や交渉を行い、しっかりと対応していきたいと考えている。

◎議員 市民の代表として、配備撤回を前面に打ち出し、新たな政権に対しても、しっかりと交渉していただきたい。

との提言もいただいている。
◎議員 さまざまな問題があることは認識している。そこで、ネックである費用負担について、受け入れ意思のある事業所に対し、九条交付金の活用も含めて補助をしていただきたいと考えるが。

◎福祉保健部長 市内の二一調査に加え、支援の方法他市町村の状況も鑑みながら調査研究してまいりたい。

◎企画部長 九条交付金の活用についても、今後十分に検討してまいりたい。

◎議員 一日も早い実現に向けて取り組んでいただきたい。

市民駐車場の運営再開について



呉屋 等議員

○議員 市民駐車場の閉鎖による影響について伺いたい。

○市民経済部長 周辺事業者からは、客足も遠のき、従業員の通勤にも支障を来しているとの声がある。

○議員 緊急的な対応策として、グリーンベル商店街周辺の民間施設駐車場の活用についても検討しているか。

○市民経済部長 具体的な協議はしていないが、可能であれば検討してまいりたい。



昨年12月28日から運営が再開された市民駐車場

れば検討してまいりたい。

○議員 警備上の理由により閉鎖されたことであるが、次回、米軍と交渉する際には、その問題をしっかりとクリアできる条件の提示が可能かどうかお聞きしたい。

○市民経済部長 市民広場と市民駐車場の開放に向けて管理要綱を策定中であり、利用規定に準じた管理運営を行うことを米軍に提示して早期開放を請うてまいりたい。

○議員 長年にわたり普天間地域、宜野湾市民の駐車場として活用されており、一日も早い運営再開をお願いしたい。

普天間飛行場の動向について



知念吉男議員

○議員 オスプレイ配備後の運用状況や市民からの苦情等は把握されているのか。

○基地政策部長 運用状況については沖縄県基地対策課と連携しながら、可能な範囲で実態把握に努めている。また、市民からの苦情等については基地被害一〇番に寄せられた情報をもとに把握している。

○議員 運用実態を綿密に調査し、これを証拠として国に示すべきと考えるが、

○基地政策部長 できる範囲の運用実態調査を行った上で、国に対し運用実態の説明を求めたい。

○議員 新たな政権が誕生する中で、普天間飛行場の閉鎖返還に向け、どのように取り組んでいくのか。また、辺野古移設反対を貫き通す意思があるのかどうか伺いたい。

○市長 新たな政権に対して、日米合意の遵守をしっかりと要請していきたい。また、県内移設反対については、固定化を避けることを前提に、県外移設も伝えてまいりたい。

○議員 普天間飛行場の固定化を避けるために、辺野古への移設を断念させる決意はあるのか。

○市長 普天間飛行場の固定化を避けることが一番大切であり、返還までの間、市民の負担軽減と危険性の除去をどう捉えるかということもあわせて、新しい政府とともに話し合いを進めていきたい。

○議員 本市からも訓練の受け入れなど、負担軽減を県外へ訴えるべきだと考えるので、情報を得ながら、いろいろな提案を発信してもらいたい。

○基地政策部長 沖縄県及び県内各市町村と連携しながら、行政としてできる範囲であらゆる方策を講じてまいりたい。

大謝名交差点の混雑解消について



玉元一恵議員

○議員 当該交差点への右折信号機設置の進捗状況についてお伺いしたい。

○市民経済部長 右折信号機設置の進捗状況について、宜野湾警察署に確認をとったところ、県公安委員会より現地の交通量調査等を行った上で、今年度中に右折信号機の設置を行うとの回答を得ている。

○議員 当該交差点は小中高生の通学路でもあり、陸橋付近から左折する際、横断歩道を渡る歩行者が運転手からは見づらく、また旧NTT側の横断歩道では、歩行者がいても車が進入してくるとの声が保護者からあり、ぜひ改善していただきたいと思うが、どのようにお考えか。

○市民経済部長 宜野湾警察署との調整も必要になってくるが、交通安全対策として立て看板や高輝度反射板の設置について、すぐにでも取り組んでいきたいと考えている。

○議員 安心して歩行できるように、事故が起る前にぜひ改善していただきたい。



大謝名交差点内の横断歩道

中原4号と中原2号との交差点の交通安全対策について



仲村春松議員



市道中原2号と中原4号との交差点

◎議員 当該交差点は交通事故が頻繁に発生するので、交通安全対策を講じたとのことだが、その内容について伺いたい。

◎建設部長 平成二十三年七月に、地域住民よりカーブミラーが電柱に隠れて見づらいたの声があり、カーブミラーを電柱に隠れない場所へ移設して安全対策を講じた。

◎議員 安全対策を講じたにも関わらず、いまだ事故が発生しており、市道中原四号側に停止線及び停止標識を設置し、完全に一時停止をさせないと思わないかと。どうか、どのようにお考えか。

◎市民経済部長 御指摘のとおり当該交差点には優先道路標識がないことも事故の原因と考えられるので、標識設置について宜野湾警察署に要請を行っていききたい。

◎議員 市道中原四号側に一時停止標識等を設けない限り事故が発生する可能性があるのでは、しっかりと安全対策をとっていただきたい。

普天間第二小の学校環境衛生基準について



上地安之議員

◎議員 普天間第二小以外でも文科省が示した望ましい教室の基準値を満たしていない学校があることについて、今後の対応、改善策はどのように協議しておられるのか。

◎教育長 五月下旬に防音事業関連の維持費の補助、対象期間の拡充について要請をしており、オスプレイが飛来したことによる低周波の問題もあることから、専門家の情報

提供を得ながら、関係部局と連携して沖縄防衛局に対し、教育環境改善を厳しく求めていきたいと考えている。

◎議員 普天間第二小には遮音効果が高い一級防音工事が施されているが、遮音性能検査の責任の所在について、その後協議されたのか伺いたい。

◎基地政策部長 機会あるたに協議、要請はしているが、明確な回答はない状況であり、今後は具体的な検討、対策を詰めていく必要がある。

我如古地内進入路の整備について



平良眞一議員

◎議員 国道三三〇号我如古交差点改良事業の事業計画と進捗状況について伺いたい。

◎建設部長 平成二十四年度は、用地買収、物件補償及び仮排水路工事を実施しており、進捗状況は約六〇％と国道事務所の担当者より伺っている。

◎議員 我如古地内進入路の事業計画についても伺いたい。

◎建設部長 国道三三〇号我如古交差点改良事業に合わせ

て整備を行う計画であり、現在、防衛省補助で実施設計を行っているところである。

◎議員 当該整備により我如古地内進入路の交通量がふえること予想されるが、通学路としての歩道整備など、安全対策はどのように考えているか。

◎議員 事故が起きてからでは遅いので、国道三三〇号の拡張工事完了に間に合うようしっかりと対策を講じていただきたい。

愛知区内ヌールガーの整備について



佐喜真進議員

◎議員 愛知・神山地域で最も古い井戸であるヌールガーの文化財としての内容及びその位置づけについて伺いたい。

◎教育部長 当該井戸は「ふるさと愛知」において、古くからウブガーとして崇拜され、宜野湾ノ口の管轄であるとの記述もあり、文化財分布情報図においても市と地域にとって保護、活用が必要な文化財の一つとして位置づけている。

◎議員 本市の登録文化財としての登録は可能と考えてよいのか。

◎教育部長 文化財は、市民の共有財産であると同時に歴史、文化に根差した歴史的遺産であるため、状況を把握した地域住民の方々の管理が必要だが、市登録文化財としての要件は十分に備えている。

◎議員 文化財登録後の市の支援策について伺いたい。



市登録文化財として要望のある愛知区内の「ヌールガー」

枯れ葉剤問題とアスベスト被害への対応について



桃原 功議員

◎議員 枯れ葉剤使用の実態について、名護市が外務省沖縄事務所へ事実確認を求め、要請書を提出したとの報道がなされた。本市においても同様な要請を出すべきだと思ふが、御見解を伺いたい。

◎基地政策部長 枯れ葉剤については、県を初めとする関係市町村で組織する軍転協で国に対し要請されている。

◎議員 軍転協だけではなく、市としても独自に要請書を出すべきだと思ふ。また、アスベストに関しても、キャンプ瑞慶覧のハウジング付近住民は飛散してくる粉じんが恐怖を感じている。国にはどのような対策を要求していくのか。

◎基地政策部長 西普天間地区のハウジングエリアの住宅が解体される前に、防衛局に対し、アスベストが飛散しないようにその対策については万全を期すよう要請をしていきたい。

◎議員 市長みずから国に対し、きちんとした対策をとるよう要求していただきたい。

決議・意見書

今定例会において、十二月五日に議会運営委員会から提出された「相次ぐ米兵による凶悪事件に対する抗議決議及び意見書」は、全会一致でそれぞれ可決された。

さらに、二十日には「市民広場及び市民駐車場の早期開放を求める要請決議」が全会一致でそれぞれ原案可決され、同日に議長、副議長、議会運営委員長及び副委員長の四人が議会代表として、普天間航空基地副司令官ワレス中佐へ、両敷地の早期開放について直接要請を行った。

相次ぐ米兵による凶悪事件に対する抗議決議

去る11月18日早朝、泥酔した在沖米海兵隊兵士が那覇市内の民家に不法に侵入したとして、現行犯逮捕されるという事件がまたもや発生した。

10月には、米海軍兵による女性暴行致傷事件、そして11月2日には読谷村で住居侵入の上、器物損壊をし、無抵抗の中学生に対し傷害を負わすという事件が起こったばかりであり、激しい憤りを覚えるとともに、断じて許すことはできない。

本市議会は、これまで米軍人等による事件・事故が発生するたびに綱紀粛正、再発防止及び関係者への教育等を徹底するよう米軍等に再三再四強く申し入れてきたにもかかわらず、このような事件が連続して発生する異常事態は、米軍の綱紀粛正、再発防止策及び人権教育が全く実効性を伴わない形式だけにすぎないことを立証したといっても過言ではない。さらに、在日米軍が現在実施している夜間外出禁止令が再発防止策として何ら機能していないことも浮き彫りとなった。

戦後67年が経過した今もなお、沖縄は米軍の占領下だという意識が根底にあり、沖縄県民は平穏な生活を保障されず、人権が脅かされる日常であり、県民の安全・安心な生活と尊厳を守るためには、もはや在沖米軍基地を整理・縮小する以外に方法はない。

立て続けに起こる米兵による暴行事件や県民の総意を無視した日米合意に基づくMV-22オスプレイの強行配備などに対し、市民、県民の怒りは頂点を超え、新たな島ぐるみ闘争に発展しかねない状況である。

よって、本市議会は、9万5千人余の市民、沖縄県民の尊い生命・財産と人権を守る立場から、相次ぐ米兵による凶悪事件に対し、厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

記

1. 相次ぐ事件の加害者に対する厳正な処罰と被害者への謝罪及び完全な補償を行うこと。
2. 在沖米軍人・軍属等への人権教育のあり方を根本的に見直すとともに、一層の綱紀粛正を図り、実効性のある抜本的な再発防止策を講じ、速やかに公表すること。
3. 日米地位協定を抜本的に改正し、在沖米軍基地の一層の整理・縮小及び米軍基地普天間飛行場の早期閉鎖、返還を促進すること。

平成24年12月5日

沖縄県宜野湾市議会

市民広場及び市民駐車場の早期開放を求める要請決議

これまで米軍の配慮により、宜野湾市民の憩いの場として活用されてきた「市民広場」が平成24年9月26日に閉鎖され、さらに「市民駐車場」が11月3日より米軍基地普天間飛行場の保安上の都合で閉鎖されたことは、多くの市民並びに当該施設の利用者にとって、大変憂慮している現状にあります。

市民広場は、市のイベント行事のほか、ゲートボールやグラウンドゴルフ大会、少年野球大会等、各種行事に幅広く活用がなされており、昨年度実績では個人・団体を含めて1,450件の利用申請がなされ、約96,000人が利用しており、ゲートが閉鎖された以降も申請件数が100件を上回っている状況であります。

また、市民駐車場においては、毎日約300台の通勤者や買い物客等での利用や、地域活性化のイベント広場として長きにわたり利用されてきた実績があり、普天間地域にとって必要不可欠な施設となっております。

両施設の閉鎖に伴う地域への影響は甚大であり、今後も開放されない状況が続くと地域経済の低迷を初めとして、子供からお年寄りまでスポーツ等による地域交流、健康増進においても重大な影響を及ぼすのは必至であり、大変懸念すべき事態だと認識しております。

よって、本市議会は住民福祉の向上並びに地域経済の活性化を促進する立場から、市民広場及び市民駐車場について、これまでどおり利活用できるよう早急に開放していただきたく、特段の御配慮を強く要請いたします。

以上、決議する。
平成24年12月20日

沖縄県宜野湾市議会

議員活動

教育委員会より、「全国学校給食週間」に向けた取り組みとして学校給食状況視察(学校訪問)を実施するに当たり、議長及び福祉教育常任委員会の委員が、児童・生徒とふれあいながら、学校給食の意義と役割について理解と関心を高めました。また、学校給食の実情を把握し、今後の学校給食の充実、発展に役立てるよう視察、懇談を行いました。

*視察校及び日程

- ◆嘉数中学校 一月二十一日
- ◆普天間小学校 一月二十二日
- ◆長田小学校 一月二十四日



第373回宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議決結果
議案第65号	平成24年度宜野湾市一般会計補正予算(第3号)の専決処分の承認について	承認
議案第66号	平成24年度宜野湾市一般会計補正予算(第4号)	原案可決(全会一致)
議案第67号	平成24年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第68号	平成24年度宜野湾市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第69号	平成24年度宜野湾都市計画地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第70号	平成24年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第71号	平成24年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第72号	平成24年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第73号	宜野湾市部設置条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第74号	宜野湾市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定等に関する基準を定める条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第75号	宜野湾市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第76号	宜野湾市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第77号	宜野湾市特別養護老人ホーム等の設置に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第78号	宜野湾市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第79号	真志喜中学校屋内運動場・武道場増改築工事(建築)請負契約について	同意(全会一致)
議案第80号	消防ポンプ自動車(21・22号車)購入に係る物品の取得について	同意(全会一致)
議案第81号	大山小学校分離・新設校、幼稚園用地の取得について	同意(全会一致)
議案第82号	宜野湾マリン支援センターの指定管理者の指定について	同意(賛成多数)
議案第83号	宜野湾ベイサイド情報センターの指定管理者の指定について	同意(賛成多数)
議案第84号	宜野湾海浜公園等の指定管理者の指定について	同意(賛成多数)
議案第85号	宜野湾市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第86号	教育委員会委員の任命について	同意(退場1名)
認定第1号	平成23年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第2号	平成23年度宜野湾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第3号	平成23年度宜野湾市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第4号	平成23年度宜野湾都市計画地泊第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第5号	平成23年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第6号	平成23年度宜野湾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第7号	平成23年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第8号	平成23年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
議案第62号	平成23年度宜野湾市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定(全会一致)
決議案第14号	相次ぐ米兵による凶悪事件に対する抗議決議	原案可決(全会一致)
決議案第15号	市民広場及び市民駐車場の早期開放を求める要請決議	原案可決(全会一致)
意見書第17号	相次ぐ米兵による凶悪事件に関する意見書	原案可決(全会一致)
陳情第48号	平成25年度幼稚園就園奨励費補助金に関する陳情	閉会中の継続審査
陳情第49号	民間戦争被害者を救済する「新たな援護法」の制定を求める意見書について	閉会中の継続審査
陳情第50号	平成25年度福祉施策及び予算の充実について	閉会中の継続審査
陳情第51号	大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情	閉会中の継続審査
陳情第52号	トロピカルビーチ東リーの活用に関する請願	閉会中の継続審査
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第20号 宜野湾市入札制度に関する見直しについての要請 陳情第38号 住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情 陳情第45号 女性の人材育成と積極的登用について	承認 (総務常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第31号 宜野湾市発注に係る公共工事に使用される生コンクリートについての「官公需適格組合」並びに「品質管理監査合格工場」への優先使用に関する陳情 陳情第46号 地球温暖化対策に関する「地方財源の確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書採択について 陳情第52号 トロピカルビーチ東リーの活用に関する請願	承認 (経済建設常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第19号 離婚後の親子の面会交流に関する法整備と支援を求める意見書の提出について 陳情第21号 就学援助制度の周知・拡充を求める陳情 陳情第28号 「幼稚園・就学前教育」準義務教育化・無償化要請制度設計の意見書提出に関する陳情 陳情第29号 「30名以下学級」早期完全実現に関する陳情 陳情第30号 学校給食センター移設統合反対に関する緊急要請 陳情第39号 「子ども・子育て新システム」に基づく保育制度改革に反対する意見書提出を求める陳情 陳情第41号 「こころの健康を守り推進する基本法」の制定を求める意見書採択のお願い 陳情第48号 平成25年度幼稚園就園奨励費補助金に関する陳情 陳情第49号 民間戦争被害者を救済する「新たな援護法」の制定を求める意見書について 陳情第50号 平成25年度福祉施策及び予算の充実について 陳情第51号 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情	承認 (福祉教育常任委員会)